

**令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「セメイ市核医学・がんセンター医療機材整備計画」完了式の実施**

2023年11月24日、アバイ州セメイ市の核医学・がんセンターにおいて、令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「セメイ市核医学・がんセンター医療機材整備計画」（供与限度額：73,271米ドル）の完了式を行いました。式典には山田淳在カザフスタン日本大使、アバイ州保健局のサンディバエフ・マラト・ヌルランベコヴィチ局長、同センターのベリヒナ・タチヤナ・イヴァノヴナ院長等が出席しました。

本案件では、核医学・がんセンターにおいて、開腹手術を行う際に確実に止血を行えないリスクを鑑み、電気止血用メスが整備されました。同機材により、手術中の安全性が向上しただけでなく、手術時間が短縮され、患者の負担を軽減することに成功しました。

式典の際、山田大使は核医学・がんセンターの院長から同センターの概要説明を受けた上で、院内を視察しました。その後、サンディバエフ保健局長、ベリヒナ院長から日本政府・国民に対する感謝の言葉が伝えられました。山田大使は、本案件の完了に対して祝意を述べるとともに、今後の同センターの発展を祈念する旨述べました。



同センターの院長が病院内を案内している様子。



完了式の様子。20名近くの医師・看護師が出席した。



大使のスピーチ。



地元メディア SEMEI TV の取材。



記念撮影。



供与機材に貼った日章旗ステッカー。